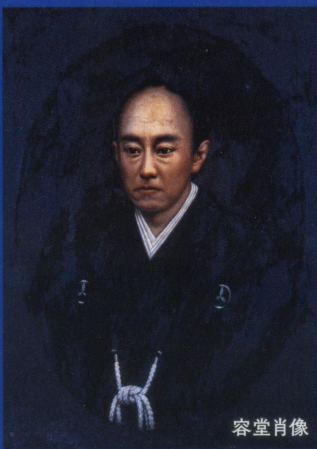


明治維新百年を間近に控えた昭和四十一年（一九六六）一月、歴史家平尾道雄は維新史の再検討が各方面から期待されていることを強く意識して、高知市民図書館土佐群書集成の「部」として『容堂公遺翰』（上・下）を発刊した。

本展では、平尾が編集した容堂の書翰集から、彼の人となり、政見や人物評などを紹介し、幕末政治に重きをなした容堂こと、土佐藩十五代藩主山内豊信の実像に迫りたい。



容堂肖像

史料としての容堂書状

「公武合体主義を堅持して幕末の政治舞台に活躍した容堂の政見、立場などはその政友春嶽、宗城にあてたものだけに率直に告白され、吐露されている。これは幕末期の複雑な政局とその推移を理解し、判断するための好個の史料だともいえるし、また公武合体論者としての容堂の心事を思量する不可欠の文書でもある。」



容堂所用 青糸威三十二間筋兜

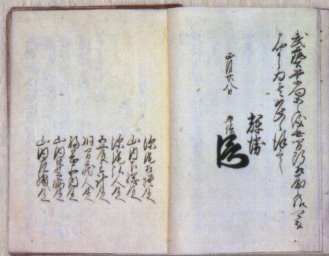
特集展
2017大政奉還150年 連続特集展示2
幕末・維新の言葉
「山内容堂の主張」

容堂書状の魅力

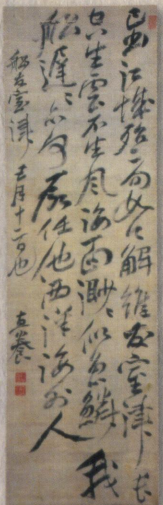
「容堂は詩人であり、かつ酒徒であった。（略）その文章の奔放自在、その文字に含まれる詩趣、その行間に奔流する酒の香に異常な興奮をさそおぼえたのである。詩集や文集では味わうことのできない、もっと赤裸々な容堂の人間性をそこに見ることができたのである。書翰文学というものがゆるされるならば、かれの書翰はまさに独特の味と香気を放つ文学ではないか。」



容堂愛用 馴鹿彫刻玻璃杯
(山内神社蔵)



豊信公御書控



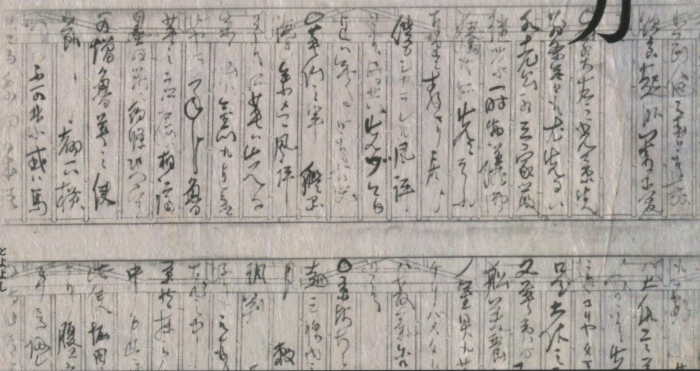
容堂作・筆七言絶句
「船出室津」

【平尾道雄】
高知市出身。明治33年(1900)～昭和54年(1979)。大正9年(1920)、東京・代々木の山内家家史編輯所に入所以来、土佐藩政史、特に維新史の研究に専心する。著書に「海援隊始末記」「新撰組史録」「山内容堂」「吉田東洋」「土佐藩財政史」「土佐藩」など多数。

◎同時期開催 企画展 「文化庁待参上—武士たちの学問と芸能」
平成29年 4月29日(土祝)～6月26日(月)

◎次回特集展 「黒船がやってきた!～いっしょに学ぼう、開国から明治へ～」
平成29年 6月24日(土)～8月21日(月)

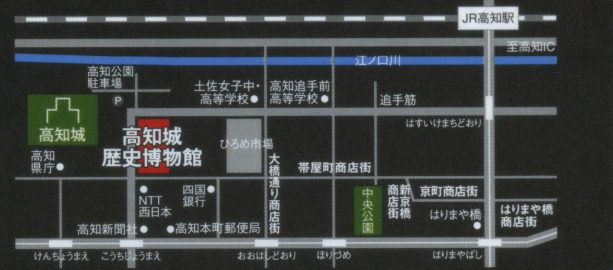
山内豊信宛書状



高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

〒780-0842 高知県高知市迫手筋2-7-5
TEL 088-871-1600/FAX 088-871-1619
<http://www.kochi-johaku.jp>

高知城博 検索



- 開館時間 / 月～土曜 9:00～18:00
日曜 8:00～18:00
※展示室への入室は閉館の30分前まで。
- 休館日 / 会期中無休
- 観覧料
◎企画展開催期間中(4/22、23、29～6/19) / 700円(560円)
◎その他の期間(4/24～28) / 500円(400円)
※()は団体20名以上の料金
- 年間観覧券 / 2,000円
- 高知城とのセット券
- ◎当館企画展開催期間中(4/22、23、29～6/19) / 890円
- ◎その他の期間(4/24～28) / 730円
- 高校生以下は無料。
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。
- 高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。
- 観覧料(企画展)スケジュールはホームページをご確認ください。
- 観覧券は当日のみ有効です。(年間観覧券は除く。)

■交通アクセス
●お車をご利用のお客さま / 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館用の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
●JRをご利用のお客さま / JR高知駅からごきょうりょく電車(はりまや橋方面行き約5分)、はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉またはのり方面行き約5分)、高知城前下車、徒歩3分。